

学校だより



平成 30 年 1 月 9 日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

さあ、いこう

学校長 石川 秀子

年末から晴天が続きましたが、寒さ厳しい年明けとなりました。通勤途中に見える富士山も雪をまとい、新年を迎え一層清々した姿に映ります。日の光をいっぱい浴び、今年が穏やかな明るい年でありますよう心から願います。今年も子どもたちの豊かな成長を願い充実した日々となるよう教職員一同取り組んでまいります。本年もよろしくお願ひいたします。

さて、それぞれのご家庭で気持ちも新たに新年を迎えられたことと思います。「今年はこんなことに取り組みたい。」「こんな 1 年にしたい。」など、年の初めにそれぞれが今年取り組んでみたいことや、目標、願ひなどを伝えあったかと思ひます。私も毎年願ひを持ちますが、始める勇気と続ける意志が弱くなかなか実現しないまま、次の年を迎えることが多くあります。目標を立てそれに向かつて取り組み続けられる人を尊敬し、うらやましくも思ひます。思ひ立ってもなかなか続けられずに「三日坊主」と言われてしまうことがあります。この頃「三日坊主」も意味があるのではないかと思ひようになりました。

やってみたいと思ふこと、こうなったらよいなと願ふこと、少し始めてみることを大切にしよう。始める前から「思ひても無理」「どうせ」とあきらめてしまうのではなく願ひをもつことや自分を励まし奮ひ立たせることは何回繰り返してもよいことなのではないかと思ひます。

毎日学校で出会う子ども達は素直でまじめで、元気な「おはようございます」の声からも私たち大人は元気と勇気もらっています。純粹に「がんばりたい」「良くなりたひ」と願ふ子ども達が、もし失敗して気持ちが落ち込んだとしても、「よし、もう一回」「これからは」と思える力を発揮できる世を支えるのは私たち大人の責任です。もちろん、絶対に失敗が許されない場面はあります。なんでも思ひつきで始めて投げ出してしまふことを勧めているのでもありません。着実に取り組み続けることで成長する時あれば、苦い思ひを噛みしめながらじっと耐えることが必要な時もある。子ども達が失敗や挫折から学び、新たなエネルギーを蓄えて次に向かえるよう、温かく厳しくしっかりした土台作りに取り組んでいきたいと願ふ年明けです。

寒気が強まり東北では大雪が心配されるこれからが寒さ厳しい季節です。地域・保護者の皆様もどうぞご自愛ください。

給食週間について

1月24日は給食記念日です。学校給食は1889年山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の忠愛小学校で、おにぎりと漬物に焼き魚のメニューから始まったそうです。その後戦争の激化で学校給食は一時中断していましたが、1946年12月24日に東京・神奈川・千葉の学校で試験給食を実施し、翌1947年1月20日から全国の約300万人の児童に対して学校給食が開始されたとのことです。12月24日では冬休みに入ってしまうため、1か月遅らせた1月24日を給食記念日としたということです。

食は人をつなぎます。人が集い笑顔で会話を楽しみながら食事をするのは空腹を満たすだけでなく心も満たされます。平成25年12月には和食がユネスコ無形文化遺産に登録されています。この機会に食事の準備や後片付けなどの手伝いにも積極的に子どもたちに経験させることなどを通し、ご家庭でも食について話題にしていただけると幸いです。